

令和6年度
事業報告

社会福祉法人 愛友会

はじめに

令和6年度は、念願の男性居住棟改築が承認され、各方面の方々にご協力を頂き、入札を実施した結果市内の岩井建設（株）が工事を受けていただける事が決定し11月より着工となりました。近年は世界情勢の大きな変化の中、資材高騰や人材不足等により全国的に工事価格が高騰して入札不調も多いと聞いていますが、無事着工にこぎつけることが出来ました事は非常にうれしい出来事でした。短期利用を含む30名の仮設住宅がグラウンドに新設され、利用者の皆さんは利用後初めての個室生活となりました。今までの生活から大きく環境が変化したにも関わらず非常に早い時間で落ち着いて生活していただいています。約1年の工事期間事故なく無事工事が終了する事を願っています。

また、女性棟についても東京都の感染症関連の補助により、3部屋あった2人部屋を個室に改修されました。令和7年度からは短期利用も含めて利用される方はすべて個室となりました。利用者の皆さんの状況としては退所により空床が発生していますが、障害の施設は入所から退所迄期間が長いことと、高齢の方と若い方の事故等も心配される事から、短期入所で双方の相性を確認しながら長期利用に結びつける方向で進んでいます。また、92歳を筆頭に高齢化進んでいる事を実感しています。歩行や生活全般がさらに支援技術を要する状況に変化しています。日々支援を見直し変化させることが求められる年度となりました。役員各位、また、関係者の皆様に多くのご協力をいただき有意義な年度となりましたこと、心から感謝申し上げます。

以下令和6年度の事業報告といたします。

1. 主な事業の経過

月	日	内 容	説 明	場 所 等
4	9～13	能登災害派遣	災害派遣	金沢
	18	施設内内部研修	感染症内部研修①	施設内
	20	保護者会役員会	事業計画案等	四ツ谷
	22	摂食嚥下研究会	委員会	施設内
	24	施設内環境整備	委員会	施設内
	26	定期健康診断	嘱託医による定期健康診断	施設内
	30	行動援護研修	強度行動障害研修	ZOOM
5	8	胸部レントゲン検診	松井田病院検診車	施設内
	10	法人監事の監査	令和5年度事業内容全般の監査	県内
	13	行動援護研修	強度行動障害研修	ZOOM
	20	施設内内部研修	全国大会内部研修	施設内
	24	法人理事会	令和5年度事業報告・決算 他	施設内
	28・29	ディズニーランド旅行	利用者4名・職員4名	千葉県内
6 月	13	果物狩り	ブルーベリー狩り	高崎市内
	14	法人理事会・評議員会	法人理事、監事・評議員	施設内
	14	奉仕活動（道路清掃）	わかば会（利用者4名・職員2名）	富岡市内
	16	保護者会総会・役員会	保護者会総会・役員会	四ツ谷
	20	施設内内部研修	事業継続計画	施設内

	21 25・26 28	果物狩り 鎌倉旅行 サンリオ旅行	ブルーベリー狩り 利用者3名・職員3名 利用者5名・職員5名	高崎市内 神奈川県 東京都内
7月	4 9 18 22	関東ブロック研修 伊香保旅行 内部研修（虐待防止） 摂食嚥下研修	職員1名 利用者7名・職員6名 施設内 支援員20名 職員7名	長野県内 県内 施設内 施設内
8月	2 9 19 27 30	個別旅行 夏季特別研修会 都社協研修 都社協研修 保健所立入検査	利用者1名・職員1名 福祉協会参加者4名（zoom） 支援員 1名 支援員 1名 栄養課	県内 群馬県内 ZOOM ZOOM 施設内
9月	3 5 7 10 13 18 20 24 25 30 30	災害派遣報告会 風水害訓練・非常呼集 保護者会役員会 秋祭り 摂食嚥下合同勉強会 福祉パレード 感染症研修 運動会 第三者評価利用者調査 成人生活部会 個別旅行	事務員1名 職員・利用者18名 保護者会役員・施設長 利用者50名・職員47名 山川医師による合同勉強会 利用者6名・職員5名 職員15名 職員30名利用者48名 利用者29名・評価者5名 福祉協会 利用者1名・職員1名	前橋市 施設内他 四ツ谷 施設内 施設内 市庁舎 施設内 施設内 施設内 施設内 前橋市 県内
10月	1 2 2 3・4 9 10・11 16 17 18 21 21 22 24 25 30 31	法人理事会 グルメ旅行1 奉仕活動（道路清掃） 全国大会 喀痰吸引研修 新潟旅行 グルメ旅行2 施設内内部研修 リーダーシップ研修 個別旅行 わかば会総会 運動会 バーベキュー大会 インフルエンザ予防接種 グルメ旅行3 グルメ旅行4	B棟改築に係る理事会 利用者2名・職員2名 わかば会（利用者3名・職員2名） 職員2名 職員2名 利用者7名・職員7名 利用者2名・職員2名 認定調査、重度支援加算 職員2名 職員1名 利用者1名・職員1名 利用者47名・職員2名 利用者50名・職員25名 利用者50名・職員33名 利用者50名・職員25名 利用者3名・職員3名	施設内 高崎市 富岡市内 福井県 高崎市 新潟県 高崎市 施設内 ZOOM 県内 施設内 施設内 甘楽町 施設内 高崎市 高崎市

11月	6	喀痰吸引研修研修	職員 2 名	高崎市
	9	保護者会懇親会・役員会	施設内コロナ感染者の為中止	中止
	18・19・28	サファリ旅行	利用者 8 名・職員 8 名	富岡市
	21	B 棟入札 岩井建設落札 施設内内部研修	理事長・理事・評議員・市職員 強度行動障害	施設内 施設内
12月	4	危機管理委員会	職員 1 名	前橋市
	10	富岡市社会福祉法人会	施設長	富岡市
	11	DWAT 研修	事務員	前橋市
	19	施設内内部研修	感染症研修②	施設内
	25	クリスマス会	利用者 51 名・職員 23 名	施設内
1月	8	喀痰吸引研修	職員 2 名	高崎市
	16	内部研修	各委員会年間まとめ	施設内
	16	群馬県指導監査	令和 3・4・5 事業内容等	施設内
	29	歯科検診	歯科衛生士による検診	施設内
2月	3	節分・カラオケ	利用者 52 名・職員 17 名	施設内
	4	都社協研修	職員 1 名（栄養士）ZOOM	施設内
	5	ICT 展示会	職員 5 名	東京都
	13	防犯訓練	職員 8 名	施設内
	20	施設内内部研修	各班事業報告	施設内
	26	成人生活部会	職員 4 名	前橋市
3月	6-8	あすなろ祭	利用者作品出品・見学	前橋市
	10	DWAT 検討会	事務員 1 名	前橋市
	14	理事会	定例理事会 理事・監事・職員	施設内
	26・27	血液検査	利用者 50 名	施設内

2. 運営費収支の状況

（1） 社会福祉法人 愛友会決算状況

歳入について報酬改定、重度障害者支援加算対象者の増加、施設整備補助金の決定により前年度より大幅な増収となった。

歳出は昇給や処遇改善加算の増加に伴い、人件費支出が増加した。事業費はほぼ前年度並み、事務費は改築に伴う支出が次年度になったものがあつた為減少した。施設整備（改築）に伴う多額の支出が計上されたが、補助金で賄える為事業活動収支差額は前年度以上の差額となり、建設積立金に繰り入れた。

1. 健康管理

利用者の高齢化や重度化に伴い、全般の健康状況としては下記の通りとなっています。

（1）健康状況

領域	症状など	人数
循環器系等	① 血流の循環不全や血栓に留意が必要な人。	18名

	② 嚥下機能が低下している人（誤嚥、肺炎、窒息等）	30名
消化器系等	① 食欲が低下し、低栄養が心配されている人。	16名
	② 慢性的な便秘で、下剤の服用や浣腸等の処置が必要な人	36名
	③ 尿路感染症等に留意が必要な人。	9名
下肢筋力の低下	車椅子の介助と歩行に付き添いが必要な人。	15名
情緒面の見守り	精神薬を服用している人。	37名

（２）利用者の入院

延べ3名（男性2名、女性1名）が入院し、入院日数は118日間でした。入院中は面会が制限されている中で、病院との連携を継続しました。

（３）利用者の死亡

亡くなった方	年月日	病名
	なし	

（４）利用者の事故

職員からの気づきの提案と日常的な事故を考える委員会を主体とした安全対策を継続していましたが、6件の骨折、2件の縫合、3件の裂傷、2件の転倒、2件の転落、3件の誤薬、7件のその他薬関係の事故がありました。（計26件）

行政等への報告案件（8件）	
骨折	58歳女性（右尺骨骨頭骨折）、91歳男性（右大腿骨頸部骨折） 63歳女性（肋骨骨折）、87歳女性（左足第2・3・4中足骨骨折） 63歳女性（右鎖骨骨折）、61歳男性（右手第4・5指先骨折）、
縫合	歳66男性（頭部3針）、67歳男性（右頭頂部4針）

（５）感染症予防対策

利用者	
日常の予防	毎日の体調管理、マスクの着用、手洗いや手指消毒の励行、外出の調整、建物内の定期的な清掃、点検、消毒、換気等を継続しました。
ワクチン接種	② 10月に村田医院の往診によりインフルエンザ予防接種を行ないました。 ② 12月に小幡医院の往診により新型コロナウイルス予防接種を行ないました。
衛生品等の補充	マスク、消毒液、その他の備品管理及び、人が集まる場所には空気清浄機を設置し、衛生環境の保持を継続しました。

２．利用者支援

（１）個別支援計画の実践

サービス管理責任者が個別支援会議を招集し、（本人、ケース担当、看護師、栄養士、行政機関、主治医等）本人と保護者の意向を踏まえた案を作成し、支援員会議で検討し、

本人の同意（計画内容の理解の促進）を経て支援を実践しました。利用者の高齢化や重度者の支援に伴い令和6年度は頻繁に個別支援会議を開催いたしました。

保護者の意見や考えを聞き取る場を設けることが困難な保護者には、個別支援計画書（案）を郵送し、意見の集約と同意を得ながら進めました。以後は中間の期間で評価（モニタリング）し、再度、個別支援計画書の作成と実践を継続しています。

（２）摂食・嚥下の取り組み

NPO法人代表の山川医師を招いた委員会活動は下記の通りに実践をしました。

項目	実践内容	
毎月の研究会	診断を踏まえ、評価を行ない食事形態と本人の嗜好との調整を継続しました。診断と本人の意向に添った食事の形態は以下の通りとなりました。	
	食事の形態	人数
	常食で支障がない人	23名
	診断の理解が得られず常食を提供している人	1名
	軟飯、ペースト、刻み食等の提供が必要な人	26名
食事の提供	安全面は個々の形態に合った食事を提供し、窒息や誤嚥予防を継続しました。必要な方は個別に支援を行いました。	
咀嚼訓練	特に窒息等の危険性が高い人と若年層（20歳～30歳代）を対象にして、個別でトレーニングを継続しました。	
低栄養の改善	毎月の体重測定を通じて、主治医、看護師、栄養士と連携して通常の食事に加え、栄養補助食品を提供し、健康管理に努めました	

（３）日中活動

班	活動の状況	販売額
3グループ (内4名)	織物（ラグマット等）や手芸（アクリルたわし、ビーズコースター等）の販売は妙義、下仁田道の駅とあい愛プラザ（カット）の委託販売の継続した結果、前年度並みに収益を上げることができました。	約12万円
農耕班	気温等における影響や所属する利用者が減っていく状況と、次世代の担い手不足が続いていますが、顧客に満足いただける様に質の向上を継続しました。安全対策は防御柵の設置を継続し、注意喚起をした結果、事故はなく活動を行うことができました。	約136万円
1グループ 3グループ	障害特性（自閉的傾向、統合失調症等）や健康維持（筋力低下や便秘予防）の支援をグループ編成で実践しました。 ①運動が必要な利用者は林道やグランドのウォーキング（1～3km弱）を実践し、雨天時は室内の中でDVDを使い体操を行ないました。 ②それぞれの個性や特性に応じ自立課題等に取り組みました。 ③利用者の希望に添い活動にドライブを取り入れ実践し、情緒の安定を図りました。	

2グループ 4グループ	①高齢者や看護が必要な利用者は看護師、栄養士と連携を図りながら個別の状態に合った支援計画を作成し、日々の支援に取り組みました。 ②筋力維持に向けた活動（リハビリ的）を継続しました。 ③創作活動が得意な利用者には絵画や折紙で、作品を制作し作品展に出展しました。 ④入院支援は、本人の面会と入院先の病院との連絡調整を行ない、退院後は日常生活に戻るまでの看護やリハビリを行ないました。
クラブ活動	外部から指導者を招く活動は休止し、ダンスと音楽クラブを継続しました。練習成果は秋祭等で発表しました。

（４）記録方法の改善と活用

日常の気づきの記録に加え、個別支援計画の取り組みにおける記録をより客観性をもたせる取り組みを研究し実践した結果、支援計画の中間評価する上で活用し役立ち、個別記録は保護者が閲覧を希望した際に対応ができる様に保存しています。

（５）社会参加と社会資源の活用

コロナ禍に合った生活の楽しみとして、令和５年度までは施設内でテイクアウトの機会を設けることで対応していましたが、令和６年度については、地域の感染者状況を踏まえ、小部屋を使用した外食を行う等、工夫を行い実施しました。また、富岡、安中市内の公園等を利用し気分転換を図りました。旅行は、数年ぶりに県外（ディズニーランド、鎌倉、新潟）の宿泊旅行を実施し、日帰り旅行は今年度も群馬県内の観光地等に出かけ楽しんで頂きました。

（６）自治会(わかば会)活動の活性化

運営委員（利用者）８名、顧問２名（支援員）の構成で、主な事業内容は意思決定支援（旅行候補地の説明会の開催）及び旅行、行事計画の大枠の編成を行ないました。

（７）奉仕活動

利用者自治会（わかば会）の役員、顧問による「町内幹線道路の空き缶、ごみ収拾」は６月と１０月に富岡市内で実施を行いました。

（８）地域社会との交流

妙義小学校、高田小学校との交流学习や妙義白雲寮との合同納涼祭は、新型コロナウイルス感染予防のため、止む無く中止し、その他の交流の機会も中止させていただきました。

3. 研修

項目	内容
専門研修	対面式研修に参加しました。また、研修形態によってはリモート研修（強度行動障害者支援者養成研修等）に参加しました。
職場内研修	施設内の研究委員会や班活動の実績報告を通じて、成果と課題を共有しました。
資格取得	中型車免許の取得、サービス管理責任者、喀痰吸引、知的障害者専門支援員の取得を目指した職員の支援（研修費補助や勤務調整等）を行ないました。

4. 委員会活動

委員会名	内容	
倫 理	職員行動規範	不適切な対応を無くすため、直接処遇職員中心に、周知徹底を図りました。
	ハラスメント対応	相談窓口を設置しています。また、アンケートを実施しました。相談はありませんでした。体調の異変や基礎疾患を抱える職員には、個別に聞き取りを行いました。
虐待防止	委員会による定期的な会議	委員会の設置が義務化となり、定期的な会議を行ない、評価を行うとともに、情報の共有を行ないました。
	虐待防止マニュアルの周知徹底	定期的に群馬県虐待防止マニュアルに基づいた手順や防止策を盛り込んだマニュアルの周知徹底を図りました。
	職場内研修	職員が研修で学んだ内容をフィードバックする目的で、研修を行ないました。
事故を考える	日常の取り組み	日常の気づきは定期的に生活支援員が主体で研究した結果、早期対応につなげられました。また、事故の発生時は原因を分析して再発防止策に取り組みました。
	非常食提供訓練	近年の災害に備え、ライフラインが停止したことを想定し、ガスボンベや五徳を使用し、アルファ米の提供訓練を行ないました。
	風水害訓練	①利用者は避難訓練を行ないました。 ②職員については風水害を想定した非常呼集訓練を行ないました。
	防犯訓練	新任職員に富岡警察署から指導された対処方法を中心に研修を行ない、さすまたを使った実技訓練を行ないました。

業務継続計画	令和6年度の計画作成の義務化に伴い「妙義もみじ学園 業務継続計画」を整え運用を開始しました。ガイドラインに則り、年に2回のモニタリングを実施しました。
食事提供	摂食嚥下研究会や生活支援員と調理員が連携して、食形態の変化に基づいた効率的な配膳方法や個々の機能に合った食器の提供に努めました。
居室環境	①利用者の個性や人間関係における居室調整は随時行ないました。 ②家電、家具類の点検や消耗品の入れ替えを行ないました。 ③毎月、環境整備の日を設定し衛生管理を行ないました。 ④男性利用者の仮設棟への引っ越しの準備を行ないました。
感染症予防	①定期的に発信されている感染情報の更新を行い、注意、啓発の呼びかけを行ないました。 ②各感染症対策は（職員・利用者の健康チェック、消毒、手洗い等）を継続しています。また、定期的に感染対策会議を開催し、感染状況に応じた支援を検討し実践しました。 ③新型コロナウイルス等の感染症が施設内に入ってしまった場合には、委員会が中心となり、マニュアルに則り対応を行ないました。

5. 職場内研修

日	曜日	研修テーマ	参加者	
			職員	外部講師
4/18	木	感染予防研修①	24	2
5/16	木	令和5年度全国大会	25	0
6/20	木	事業継続計画	21	0
7/18	木	虐待防止・身体拘束適正化	24	0
9/13	木	摂食嚥下合同勉強会	10	1
10/17	木	認定調査、重度支援加算	20	0
11/21	木	強度行動障害	24	0
12/19	木	感染予防研修②	22	0
1/18	木	委員会活動報告会	23	0
2/16	木	支援課事業報告会	23	0

令和6年度 苦情解決委員会報告（令和6年4月～令和7年3月）

1. 相談を受けた利用者

申し出の方法	利用者	今年度の受付結果	件数
本人から申し出た人	56	未解決	75
職員から声を掛けて話を聞いた人	0	解決	17
		評価点とその他	22
		全受付件数	114

2. 苦情・要望の内容と結果

(1) 未解決

No	内 容	件数	理 由
1	利用者関係	他利用者の発言	周囲から注意を受けても続いてしまう
2		他利用者の行動	
3		利用者間の人間関係	相性の問題による
4	生活関係	外出・帰省	実施困難による
5	合 計	75	

(2) 解決

No	内 容	件数	理 由
1	利用者関係	他利用者の行動	委員会による聞き取りと支援員による取り組みによる。
2	生活関係	施設の環境	
3		日中活動	
4	合 計	17	

(3) 評価点とその他

No	内 容	件数	結 果
1	利用者関係	他利用者の良い点	支援員の取り組みによる
2	生活関係	帰省に関する良い点	
3		施設環境の良い点	
4		日中活動の良い点	
	その他	話を聞いてほしい	
		22	